

報道関係各位

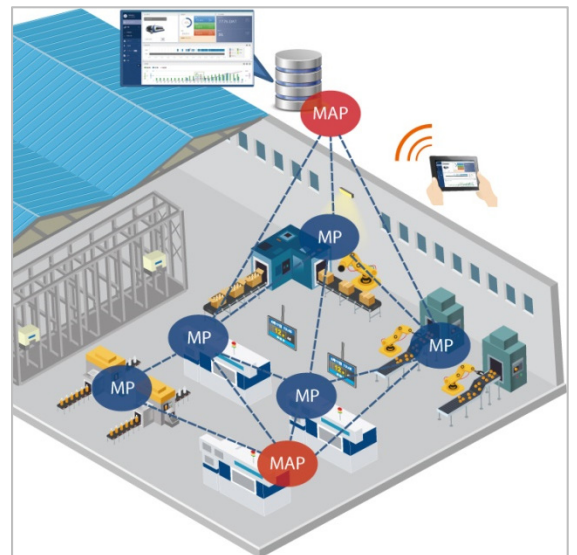
2017年 4月 26日
サイレックス・テクノロジー株式会社

サイレックス・テクノロジー、メッシュ対応ワイヤレス LAN 技術を第 6 回 IoT/M2M 展にて発表
～IEEE 802.11s に準拠した高速・簡単・セキュアな広カバレッジ無線 LAN～

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町、代表取締役社長：河野 剛士、以下 サイレックス)は、高速・簡単・セキュアな広カバレッジ無線 LAN として IEEE 802.11s に準拠したメッシュ対応ワイヤレス LAN 技術 (以下、メッシュ) を開発しました。本技術は第 6 回 IoT/M2M 展 (会場：東京ビッグサイト 会期：2017 年 5 月 10 日～12 日) に出展されます。サイレックスブースでは、本技術を含め、「マルチレイヤー・エンベデッド」をテーマに、ノードエッジからクラウドまでトータルにサポートする製品群が展示される予定です。

IoT を活用した取り組みにおいて、配線を伴うネットワーク工事には大変な手間がかかり、また、インシヤルコストを抑制したいというニーズも根強くあります。サイレックスのメッシュは対応通信機器を監視対象に付加するだけで、簡単にネットワーク構築することができます。また、広大な領域をカバーすることができるため、モバイル端末と可視化ツールを使った省人員での稼働状態の管理などにも有効です。

サイレックスのメッシュは機器の稼働データを収集する通信インフラ用途を想定しています。本ネットワークはメッシュポイント (MP) とメッシュアクセスポイント (MAP) で構成され、近接する MP/MAP は相互に経路の冗長性を持ちます。このため、何らかの原因で通信状態が変化した場合には通信経路を再構成することで最適な通信環境を維持することができます。



メッシュの想定利用イメージ

サイレックスのメッシュは、以下のような特徴があります。

- ① 高速通信
無線 LAN (2.4/5GHz 帯) を利用し、35-130Mbps (サイレックスの検証実測に基づく) の高速通信が可能です。
- ② 高速経路構成
何らかの事象によってメッシュネットワークの一部に障害が起こった場合、経路再構成に数十秒から数分かかるのが一般的です。サイレックスのメッシュは経路構成を最適化することで数秒での再構成を実現しています。
- ③ 多段ホップ
1 つのメッシュセグメントで最大 32 台の MP/MAP を利用でき、利用環境により 200m 四方程度の同一建物内のエリアをカバーします。
- ④ セキュリティ性
企業向けネットワーク環境での利用を想定し、SAE 認証や AES 暗号化に対応しています。

silex プレスリリース Vol.198

◆第6回 IoT/M2M 展 http://www.silex.jp/event/iotm2m_2017.html?pr=170426

開催日時	2017年5月10日(水) ~12日(金) 10:00~18:00 (最終日のみ 17:00 終了)
場所	東京ビッグサイト 西展示棟2階 西3・4ホール
ブース番号	西13-73



◆出展予定内容

出展製品・テーマ	概要
AMCメッシュネットワーク	IEEE 802.11s ベースのメッシュネットワーク。10 台以上で構成されたメッシュネットワーク接続状況の図化、および、各ポイントに併設の IP カメラ映像のモニタリングを実演。Wi-Fi のウイークポイントであった、カパレッジや工事・サイトサーベイ等の技術コストと無線チャンネル消費を抑制。
MA-USB (Media Agnostic USB)	2014 年 3 月に USB-IF が仕様を発表、以来その技術の標準採用が期待されている高速無線 USB 接続機能「MA-USB」のデモです。
Linux Box IoT ゲートウェイ Box	開発期間・開発コストを抑制する、量産投入可能タイプの Linux ベースの開発キット。デモでは、Bluetooth センサ情報を「LB-100AN」で収集、内蔵された Kii Gateway Agent を通じ、IoT デバイス・Cloud 連携フレームワークを実演します。
CAN ブリッジ	車両通信で利用されている CAN 通信インタフェースを無線化する Bridge 製品。収集した ECU 稼働情報を無線 LAN 伝送、IP 通信化された CAN データを iPad でモニタリング可能にします。
ディスプレイ組込み対応 Network Display Adapter	OPS スロット活用してワイヤレスディスプレイを実現する組込みボード。PC の置き換えによるディスプレイシステムのコストダウンとメンテナンス性の向上を期待されます。
DFS 回避技術搭載 11ac アクセスポイント	パートナー企業 (IDL 社) の高性能な DFS 回避技術を採用し、運用中の AP が外部よりレーダー波を受けても瞬時のチャンネル切替えを行います。W53~W56 の約 15 チャンネルの業務利用を可能とし、屋内・屋外を意識しない無線 LAN の構築・運用を実現。

サイレックス・テクノロジーについて <http://www.silex.jp/index.html?pr=170426>

サイレックス・テクノロジー株式会社(本社：京都府精華町)は、機器をネットワークやワイヤレスにつなげるハードウェア・ソフトウェアの技術を核とした研究開発型企業です。

プリンタや MFP といった OA 機器やワイヤレスルータなどの PC 周辺機器をはじめ、医療機器・産業機器など確実な接続性が求められる機器にもネットワークやワイヤレスのノウハウを活かした製品を提案し、ビジネスの幅を広げています。品質基準を厳格に保つため、設計・開発・生産・品質保証といった一連のプロセスを「[はい]はんな本社」に集約しています。海外パートナーとの連携や新市場開拓、新技術の情報収集・開発などグローバルなビジネス展開のため、北米・欧州・中国・インドに拠点を設けています。

・記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

【本プレスリリースに関するお問合せ先】

■サイレックス・テクノロジー株式会社

PR 担当窓口：経営企画部

E-mail：press@silex.jp

Tel.0774-98-3781 Fax.0774-98-3767



Twitter：[@silex_marcom](https://twitter.com/silex_marcom)

http://twitter.com/silex_marcom



Facebook：

<http://www.facebook.com/silexjp>

